

育児休暇の事例

活ユーザーインタビュー

妻から
「育児をとって
くれただけで
助かった。
いてくれる
だけで嬉しい。
と言われた
ことが一番
よかったです。」

加藤精工に入社して6年目になる神田さん。2020年8月に長男が生まれたのを機に、会社の育児制度を使って奥様と一緒に子育ての時間をつくりました。事例の少ない制度活用に戸惑いもあったようです。

Q：育児をとろうと思ったきっかけを教えてください。

A：コロナウィルスで大変な中、出産をした妻を少しでも支えたいと思ったのと、産まれたての我が子と少しでも一緒にいたかったからです。

Q：育児をとってよかったことは何ですか？

A：妻と初めての育児を一緒にし、息子と向き合うことで大変さや自分が父親になった自覚をしっかりと持つことが出来ました。また、妻から「育児をとってくれて助かった。いてくれるだけで嬉しい」と言われたことが一番良かったです。

Q：とってみて正直不安だったことはありますか？

A：育児中の経済的な面はもちろんですが、周りの家庭で育児をとっている方がいなかったのもあり、職場に迷惑をかけるのが申し訳なかったです。

Q：これから育児を取ろうとする方にメッセージは？

A：育児を取得し妻と同じように子どもと向き合うことで、育児を手伝うというのではなく、自分が育児の当事者であるという認識が変わりました。職場に対して不安に思うこともありますが、家族の為に思い切って上司に相談してみることが大切だと思います。

Q：この育児制度の課題はなんだと思いますか？

A：まだまだ男性が育児を取得するというのが会社の風土にないのがほとんどだと思います。仕事の引継ぎが難しかったり、周囲に迷惑がかかったり、上司に相談するのに勇気がいらいます。言い出しやすい環境作りをすることが今自分ができることかなと思います。具体的には、自分の経験が一つのモデルケースになり、将来出産を控えた奥さんがいる男性部下がいたら、「育児取ったらどう」と言える上司になりたいなと思います。

最後に、奥様からも感想をいただきました。

「育児はママだけの仕事ではないこと、パパも親になるために、初めての親業と一緒に奮闘して欲しい！と思い、夫の職場の方々のご協力のおかげで約1ヵ月間育児休業を取得す



ることが出来ました。産後すぐの1ヵ月だったので、私も身体がまだ思うように動けないところを、夫が授乳以外のオムツ替え、お風呂、寝かしつけ等を手伝ってくれて本当に助かりました。最近も美容室や友人の結婚式に行くか悩んでいたら「俺が見とくからリフレッシュしておいでっ！」と言ってくれてその言葉が夫から自然にでてきただけでとても嬉しかったです。今回の育児のおかげで夫と息子と一緒に貴重な時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。」



神田晃世さん

刈谷本社 品質保証部

入社6年目

2015年に入社後、すぐに今の品質保証の要である品質保証部の検査係に配属された。同期入社の仲間の中でも特に笑顔が多く、社内やお客様からも頼られる存在に。現在は検査係のメンバーをまとめる役割として、さらにスキルアップを目指している。